

# 昭和13〜18年頃の 神伝流プール

写真提供・江見写真館

山北にある神伝流のプール開き、襖式の様子です。神伝流は古式泳法の一つで、慶長から寛政年間（1596〜1801）に四国で発祥、発達し、伊予松山藩（現愛媛県）がその中心でした。

文政11年（1828）、藩命を受けた津山藩士・三浦昵が伊予松山藩に向いて修行を行い、帰藩後、吉井川で藩士たちに教授することで城下に広ま



現在の神伝流プール

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

**問い合わせ先** 〒708-0022 津山市  
山下92津山郷土博物館 ☎22-4567

※おわびと訂正

6月号の二宮の渡しの記事について、宮下橋が昭和45年以前には存在しなかったと思える表現となっていました。おわびして訂正します。

ります。その後、藩士・植原六郎左衛門が伊予松山藩で修練の後、10世宗師となります。そして、神伝流は全国に広がり、その隆盛期を迎えました。

このプールは市内では実科高女（現美術高等学校）に次いで2番目に開設されました。写真では演者が「草の泳法」を披露しています。プールに浮かぶ向こう筏で折り返した後、プール岸まで戻ります。

プール奥には、津山城北の松並木、通称「お北の松」、左側には木製の飛び込み台が見えます。プール底は向こう筏の付近からなだらかに傾斜し、飛び込み台の下では深さが3・5mもありました。飛び込み台はその後、鉄製に改築され、昭和60年には取り壊されますが、このプールの象徴的な存在でした。

昭和31年、神伝流は市の重要無形文化財に指定され、その伝統や精神を今の世代に伝えていきます。

## 表紙について

ご当地アイドル、  
城東むかし町へ

表紙で  
艶やかな浴衣姿のアイドルたちが訪れたのは、国指定史跡「箕作阮甫旧宅」。一步入れば、幕末へタイムスリップしたかのよう。夏を迎えた城東の町を、ぶらり散策してみませんか。

つ・ぶ・や・き

編集室



さあ〜たのしい夏休み

19ページで「日記」という文字を目にしたな。このつばやきも毎月書いているわけだし、さしずめ「月記」といったところかな。ここはひとつ、苦手なつばやき克服のため、日記を書こう。その内、きっと慣れるはず。早速、今日から…。明日から…。書かないことに慣れちゃった。(〜)

河川清掃の取材のため、二十数年ぶりに原付バイクに乗りました。不慣れな私は乗り方も忘れていたので、発進の度に恐怖と緊張感に襲われました。走行中も何度もなくクラクションを鳴らされ…(涙)。これに懲りず、取材に活かせるようにバイクの練習に励むぞ〜!(G)

5月に姫路市で行われたB-1グランプリ・ブロック大会に津山ホルモンうどん研究会の動き掛けで、被災地の石巻市と浪江町が急きょ参加。まちおこし団体の強い絆を感じる2日間でした。また、津山ホルモンうどんが2位入賞！11月の姫路での全国大会、応援に行きましょう。(修)

編集・発行（毎月10日発行）

津山市総合企画部秘書広報室（市役所3階）〒708-8501 岡山県津山市山北520番地  
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページ  
で閲覧できます  
<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページPC版

広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル（雑誌）にご協力ください



東日本大震災復興支援運動「Proud! Japan」について

Proud! Japanというロゴマークとともに、「被災地の皆さんは日本の誇りです！だからみんなが応援しています」というエールを日本全国から被災地に送り、復興の力にしてみようという運動です。